

情報学的『リサイクル技術』

情報の力で人に介入してリサイクル行動を促進させる技術

- 各自の排出量を振り返って検証可能にする技術
- 各自の排出量を他人と比較可能にする技術
- 上記を可能にするための排出量測定技術



生產 — 購入 — 消費 — 排出 — 処理

一般的意味でのリサイクル技術

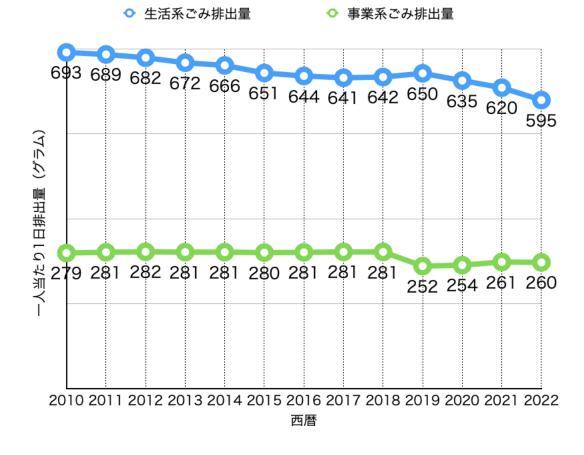
ごみと情報

国や自治体が発出する情報は 粗粒度の統計値

- 自分の排出量がわからない
- 他人との比較ができない
- リサイクル行動が生まれない

右図より排出量が順調に減っているように見える

- ・全員が現状維持で良いのか?
- もっと減らせないか?



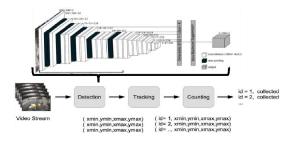
|人|日あたりの<u>生活系ごみ</u>排出量環境省:一般廃棄物の排出及び処理状況等より作成

細粒度ごみ排出量データの獲得

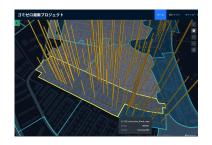
藤沢市・鎌倉市・横須賀市の清掃事業に携わっているパッカー車約40台に画像AIを組み込み、排出量を細かく計測

• 実働車両をAIoT化して常時稼働させる世界的に稀有な実装









• さまざま車種に搭載可能で、他自治体へ容易に展開



日野 デュトロ



いすゞ エルフ



マツダ タイタン

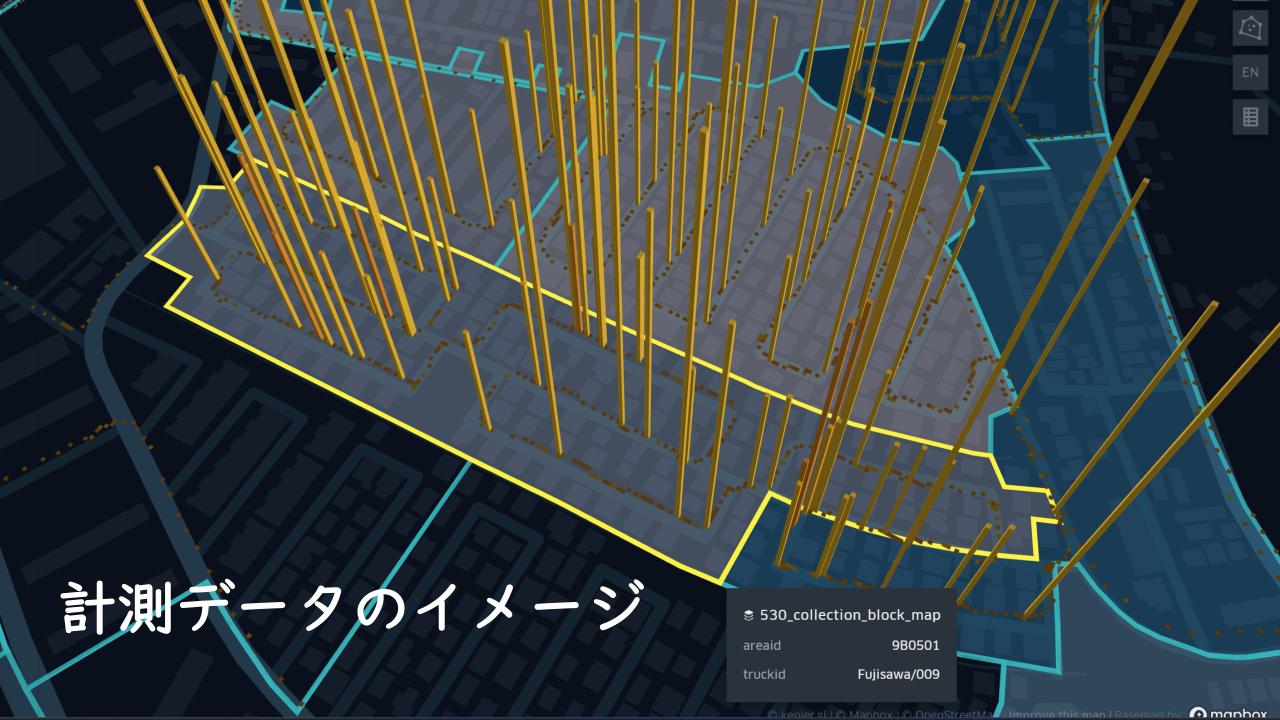


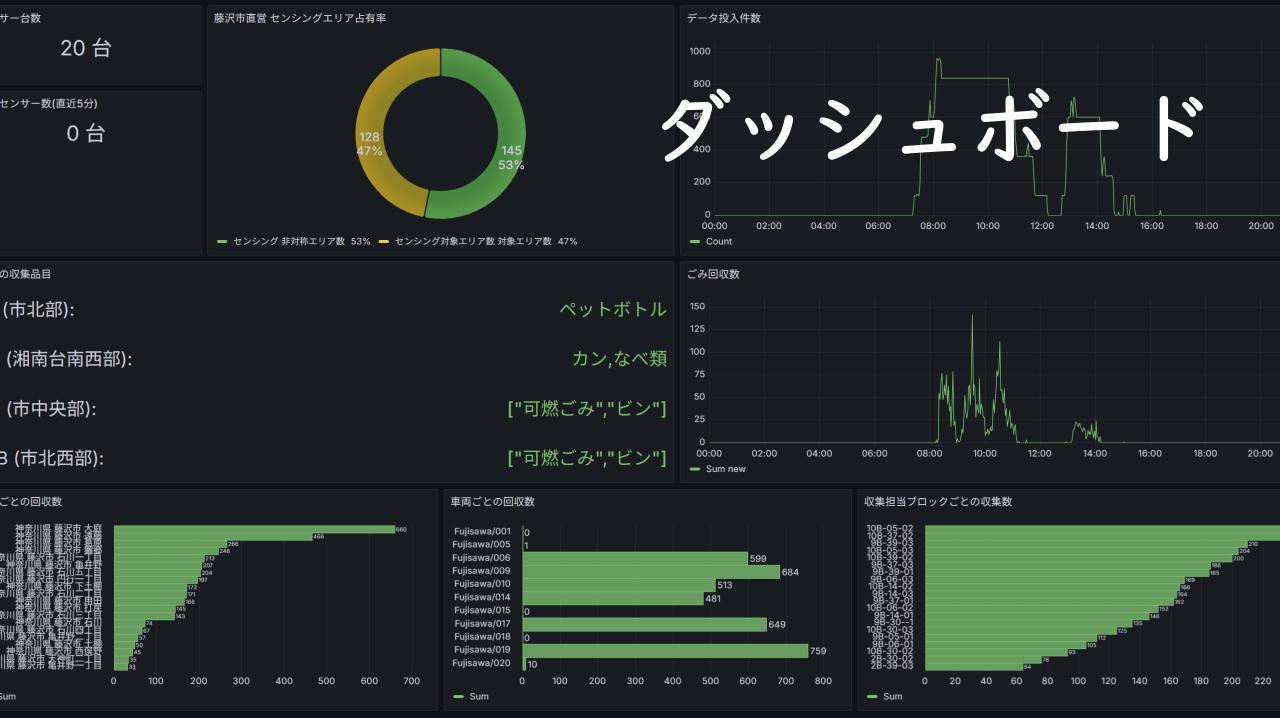
三菱 キャンター

計測過程の実際



9:38:46 9:39:11 9:39:36





今後の研究:

『ごみが痩せる』情報サプリメント





JST COI-NEXT リスペクトでつながる『共生…

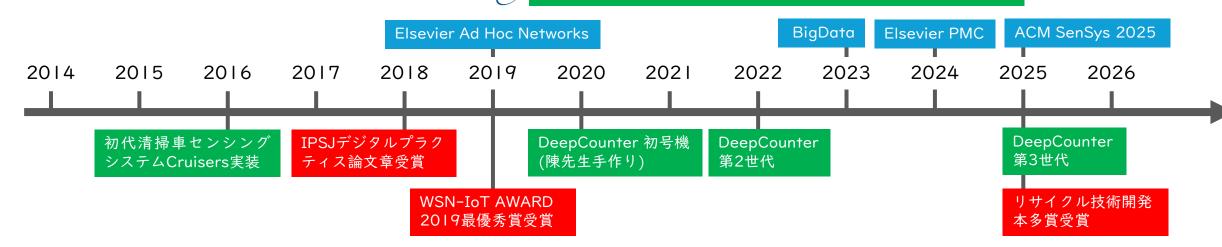
科研費

基盤A AI-QoS深層学習モデルのQoS適応…



NICT ごみゼロ湘南プロジェクト

🕤 JST CREST 限定合理性を超越する共生インタラクション基盤



皆様への感謝

